

会長 遠藤家之進正和
 新潟県山岳協会
 新潟市南区鷺ノ木新田1049
 TEL 025-362-5004

事務局 諏訪恵一
 長岡市高畑町610-10
 TEL 0258-35-4373

編集 新山協ニュース編集
 委員会代表 浅野亘寛
 TEL 0258-52-3998

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

大分国体 成年男子・女子3年連続入賞 少年女子2種目入賞

強化総括責任者 渡邊 正之

成年男子はボルダリング競技で6位、成年女子はリード競技7位に入る。少年女子は最終日の決勝で、午前中リード競技4位、午後のボルダリング競技8位で、両種目入賞を果たした。

・63回大分国体山岳競技が、大分県竹田市で開催した。競技は10月3日(金)から5日(土)まで3日間。今年度からは縦走競技が廃止されて、クライミング競技だけとなった。さらに選手が3名から2名に減った。今までのクライミング競技はリード競技と名前を変えて、高さ15mの人工壁のルー

トに挑み、登った到達高度または最長距離を競う。新に導入されたボルダリング競技では、ポイント獲得数で順位が決まる。選手は高さ5mの壁に設置されたプロブレム(課題)を登る。リードと違って規定時間内であれば、何回でも登り直しは可能。もちろん、1回で完登すればポイントは高い。それに選手同士登り方の助言や相談も出来る。監督から選手に指示を出すことも出来る。

10月3日(金)競技開始1日目、朝食は5時50分前から、宿舎玄

成年男子

出場全国都道府県47チーム

リード競技		ボルダリング競技	
予選	決勝	予選	決勝
17位	×	7位	6位

成年女子

出場ブロック選抜18チーム

リード競技		ボルダリング競技	
予選	決勝	予選	決勝
6位	7位	13位	×

少年女子

出場ブロック選抜18チーム

リード競技		ボルダリング競技	
予選	決勝	予選	決勝
7位	4位	2位	8位

関集合6時30分、計画輸送バス出発が6時40分。9時に壁の覆いが取り払われて、成年男子リード競技オブザベーションが始まる。時を同じくして隣の体育館内部に2基4面組み立てられたボルダリング壁を前に、少年女子のオブザベーションが行われた。このボルダリング会場では、少年女子が9時から、成年女子が正午から、さらに午後3時から少年男子のボルダリング競技予選がある。成年男子リード競技予選新潟県選手のスタート順は8番目、9時40分頃に登場。少年女子のボルダリング競技予選、競技順は15番目、10時24分に新潟チームの出番になる。平嶋選手が左側の壁を、岩橋選手が右側の壁を登り始めた。平嶋選手が少し先行している。クリップの仕方にも迷いやためらいは感じられない。6m付近は難なく通過し、9m付近に差しかかった。この部分だけボードは横長で30cm幅くらいになっていて、ここから壁の角度が大きく折れ曲がる。120度くらい勾配が150度くらいになる。この折れ曲がりを覆っている狭いボードに大きなホールが1個だけ付いている。大きい表面丸味を帯びてい

かにもつかみにくそうに見える。この部分左側を登る平嶋選手が通過。少し置いて右を登る岩橋選手が手を伸ばしてホールドを確保した。左右2つの壁は同一形状で、取り付けられたホールドも同じ形同じ大きさのものが使われている。11m表示の部分で平嶋選手があっけなく落ちた。岩橋選手は更に登り、12m付近で手を伸ばし、次のホールドに触って落ちた。観客席左手後部に選手成績速報掲示板が設置されている。新潟県選手ふたりの結果がただちに掲示される。8チームが登って4番目が5番目か。まだ残り5班39チームが登る。前年秋田国体の入賞組は後に控えている。この時点で予選8チームに残る可能性は消えた。平嶋選手個人47位、岩橋選手個人28位で、チーム17位に成績確定。ふたりが国体出場して以来の最低順位となる。

少年女子ボルダリング予選は、2番目に登場した静岡県選手ひとりが床のマットに落ちた際に、腕を突いて脱臼した。塚本菜々香選手と五十嵐妹子選手は、課題1と課題2を共に一回目で完登した。まず課題1に塚本選手が取り付き完登し、課題2に五十嵐選

手が向かう。互いに課題を取り替えて登り、終了した。ふたりとも一撃完登、マット上で握手してから壁に背を向けて腰掛ける待機席に下りた。6分間の競技時間はいくらも経過していない。隣の課題3と4では群馬の選手が壁に取り付くが、ひとりになかなか完登出来ない。6分経過のブザーが鳴って、課題3・4から群馬県選手は退場し、待機席にいた京都の選手が壁に向かう。新潟県はそのままもう6分間待機する。課題1・2のマットに地元大分県選手が登場して、声援がひととき高くなった。6分後、課題3と4を塚本選手は一撃でクリアした。塚本選手は課題3で、両足がホールドから離れて両手のみでぶら下がる場面があった。両腕の筋肉がどのくらい体を支えきれぬのか、見ていた方ではその時間が長く感じられた。左右に振った足のつま先が無事にホールドを捕らえて、事なきを得る。五十嵐選手は課題3で大苦戦している。ポーナスポイント2のホールドは簡単にかむが、その先のポーナスポイント1のホールドに指が届かない。塚本選手と山田監督がしきりに声をかけるが、それも耳に入らない素振

りで繰り返し壁に取り付く。その姿からは焦りまくっているように見えた。塚本選手個人1位、五十嵐選手個人12位、チーム2位の順位で決勝進出が決まる。1位千葉県はひとり4課題を登り、もうひとり課題3でポーナスポイント1のホールドをつかんだ。新潟はポーナスポイント2で終わっている。3位群馬県は、ひとりの選手が課題3と4をポーナスポイント1まで、完登していない。塚本選手と同じ、4個の課題一撃完登者は3名いた。

成年女子のボルダリング予選、新潟県は5番目に登場。片桐麻由子選手、瀧澤倫未選手とも課題1は難なく完登した。課題2に対しては歯が立たない。ふたりともポーナスポイント2のホールドを取っただけに終わった。その後の6分間は、壁を見ないように背を向けて椅子に腰掛け、休憩を取る。課題3を片桐選手は一撃した。しかし、課題4は苦手なのか、スタートホールドから手が伸びない。結局ポーナスポイント2のホールドも確保せずに終わる。瀧澤選手も課題3と4のポーナスポイント1のホールドには達したが、両方の課題とも完登出来なかった。予選順位18チーム中13位で、予選突破は夢と消えた。

出場選手36名がいて、4課題一撃完登者は3名、逆に4個の課題とも完登出来ない選手は4名であった。

10月4日(土)競技2日目、成年男子はボルダリング競技予選、成年女子はリード競技予選。共に朝9時競技開始で6時30分宿舍玄関に集合する。成年女子のリード競技は17番目のスタートで、新潟の後は高知県が登るだけだ。10時20分過ぎに順番が来る。成年男子のボルダリング予選は、スタート順が24番目、3班の最後で47チーム真ん中の登場となる。5分間隔でブザーが鳴って選手が交代していくので、10時55分に新潟の順番になる。少年女子はこの日リード競技予選で、開始は午後3時10分となっていた。片桐麻由子選手個人11位、瀧澤倫未選手個人12位、瀧澤選手が先にホールドから手が離れて落ちる。出場した選手ふたりの実力が拮抗していることが、新潟県チームの強みである。

最後の高知県チームが登場する前に、何とか8位以内に滑り込んだ感じであった。高知県チームはほとんど登ることが出来ず、見ていた観客大半がこのチーム最下位になるだろうと予想した。仮発表掲示では、新潟6位と記載されている。明日の決勝が楽しみになった。このグレード5-12 bルート完登者は、茨城と宮城の2名であった。

成年男子ボルダリング競技予選、平嶋元選手と岩橋由洋選手はふたりとも課題1を一撃完登した。課題2には歯が立たず、どちらもポーナスポイント2を取ったに過ぎない。5分の休憩が終わって課題3と4に挑む。平嶋選手は2回登り直して、3回目で課題3の最終ホールドを両手でつかんだ。岩橋選手はこの課題ポーナスポイント1のホールドで終わった。課題4は難しく、ふたりともポーナスポイント2は取ったが、ポーナスポイント1のホールドには手が届かなかった。平嶋選手個人14位、岩橋選手個人18位、チーム7位となった。他県のチームは選手ふたりの実力差が大きいうらだ。4個の課題すべて完登した選手はいない。栃木県選手1名が3個の課題を一撃完登、課題4のみポーナスポイント1で終わった。全選手94名中8名が課題1のポーナスポイント2のポイントを得ただけで、3個の課題はまったく登れずに8名とも最下位になった。

次号に続く

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス



新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134(代)
営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm

登山・ハイキング・クライミング テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>

中国青海の未踏峰 P5656m登頂記録「2」

P5656m遠征隊員

佐久間 雅 義 (新潟山岳会)

2008年7月25日 (A B C) 4750mから5656mの山頂往復)

朝5:00に起床して、7:00曇りの中を出発する。オーダーは、昨日の打ち合わせにより鈴木隊員を登攀リーダーとし、佐久間先頭、山田、井口、仁部、浅野、鈴木、各隊員の順である。30分で沢を渡

渉し、氷河の末端(4910m)に着く。左岸のガレ場をよじ登る事30分で、氷河上のガレ場に着く。その滑りやすいガレを詰めた後アイゼンを装着する。つけた順にスタートしてゆくが、オーダーは変わらない。8:30 昨日の偵察のデポ地点5014mに到着しザイル2000m×2本とスノーアンカー4本回収する。

ここで雨具を上下装着する。昨日打った仁部さん特製の標識が役立っている。氷河の上を歩くが、段々雪が湿り雪に変わって来る。見通しは10

0m程度。9:30 5172m、11:30 5320m 11:55 5420m 雪庇が右手

に見える。ここで登攀リーダー合の上指示が出る。稜線の最低鞍部に出ることになる。視界が50m位でやや見難いが、尾根ははつきり分かる。20歩毎に20呼吸をして休みを取りながら、13:45

5572mの稜線に出る。無風であるが、完全にガスが上がったわけではない。一度集合しザイルをデポし尾根筋をたどる。尾根筋は一本で間違

う事は無い。左手からは、氷河の直上ルートとおぼしき標識が3本を尾根を横切る方向に向かっている。小さい山稜を数箇所山田さんとトツブを

代わりながら、14:00最後に山頂へのルートがはっきり見通せるピークに立つ。ここから山頂まで一時間半位かかりそうだ。正面のルートが踏み

込むに少し迷いを感じさせるルートである。かたや雪庇かたや雪崩の危険を感じる吊り尾根の様相が見える。しばらく考えたが、えいままよと一歩を踏み出す。井口さんが続いてくれる。こんな時は嬉しい。二人でトツブを代わりながら、山稜を越えたと、意外と良いルートが見えたので、

勇躍歩みを進めた。山頂からの小さな雪崩を見ながら最後の詰めに入る。15:00の交信

間に合わせるべく歩む。14:55 視界が30m位の中山頂に到達する。2分遅れて井口さん

が到着二人で固い握手を交わす。早速第一報をベースの片桐さんへ流す。そうするうちに仁部さんが山頂へ到着。

新潟県山岳協会のベナントをだして写真撮影に入る。山頂は、最後に到達した方向から

左手は、かなり急激にぎれ落ちていて、意外と狭い場所である。視界は50mあるかない

かで見通しは悪い。15:15片桐さんの指示に従い山田さんの様子を見に下山にかかるこ

とにした。途中登攀リーダーの鈴木さんと、浅野副隊長と

尾根上ですれ違う。15:30飛ばして山田さんのいる位置まで移動する。山田さんは至極

元気で全く大丈夫である。二人でガスの中、次の指示を待つ。15:40頃体も冷えるので、

二人で指示に従い下山を開始する。16:22 ザイルを山田さんに持ってもらい氷河へ下降する。下りは早い足は重い。17:30氷河の末端に到着

アイゼンをはずす。ここで数回スリッパして雨具を破く。18:00ガレ場を下り、増水した沢(川に近い)を、荷物を対岸に投げて空身で飛び越す。これで全身の筋肉を使い切る。しばらく動くのもいや。山田さんは渡渉点を探しに下流へ

行ったが見つからず、私の指示で上流に戻ってもらい、ザイルを出してもらい、こちらへ渡して渡渉の準備をする。

ついでに後続のためにこちら側を石にフィックスする。山田さんを確保しながら渡渉してもらい。山田さんに確保点の石の強化をお願いする。自分では動けない。やっとのこ

とで、また数回渡渉して、ABCキャンプに19:10到着。後続全員はフィックスザイルを回収し、20:15ABCへ帰着する。全員元気、天候曇り。

的近距离の玉珠峰山塊に目を付けていたらしい。

○2005年3月ポルネオのキナバル山で高所登山に興味を持った桜井正一氏(新潟県山岳協会)等と語らって、「登山の年輪を重ねて現在も楽しみめるのか」が発端となつて

早速その年の夏、有志達がモ

新潟県山岳協会は2002年のガンシカ峰で成果をあげ、2004年は曲阿加吉馬峰を初登頂した。青海省への遠征も2007年の青海省登山協会との兄弟協定15周年行事までは一息ついたかに見えた。

個人的にはそれ以前から青海省登山協会と連絡を密にしていた片桐一夫氏(当時県山協理事)はグルムド市から比較

早速その年の夏、有志達がモ

早速その年の夏、有志達がモ

未踏峰を攀じ、荒野を駆ける 「老山I峰・老山II峰」

老山I峰・老山II峰隊員 浅野 巨寛

ルモット調査隊と称して青海省へ出発した。世話人を自称する片桐氏と隊長の桜井氏、女性を含む数名がグルムド市(2800m)や玉珠峰の山塊を正面に望む招待所があるシータータン(4150m)を拠点として4000mを超える高地での体験活動に入った。玉珠峰の前衛峰ともいえる美しい三角錐の5350m峰が一行の目を引く。招待所に泊まりながらの偵察では玉珠峰からの舌端水河近くにベースキャンプの適地を見つけた。この地まで2名ほど隊員に高度障害が出る。ベースキャンプから頂上までの標高差1000m。一般的に高所の行動では1日の高度差400m、500mが安全圏ではないか、と言われている。頂上までキャンプをひとつ出さないアルパインスタイルでいいのか、4000m前後での順調な高度順化への予定日数などの問題点も見えてきた。偵察後は崑崙崙とタクラマカン砂漠入口近くのオアシス胡楊林を見開いて帰国した。

○2006年6月24日～7月11日の日程で男女11名の有志が、P5350峰に向けて出発する。おりから西蔵鉄道の開通の年に当たり、「新潟中・海外花の山旅と西蔵鉄道開通記念列車の旅」と銘打った欲張りな旅だった。順次高度をあげながら6月28日シータータンに入る。6月29日は水河の下流の4350m地点にベースキャンプを設置して各自の体調に合わせて4500m、4700m位まで高度を上げて様子を見る。6月30日朝7:00体調がよく比較的足のそろった第1次隊4名が先行し、2次隊2名も出発する。おだやかに見える山稜も高度を上げるにしたがって鋭い岩角と崩れやすい岩稜が続いているのが確認出来る。アップダウンの続く岩稜を行く片桐、小幡、川崎、山田の一次隊の姿が見え隠れする。

一次隊は足が揃っているだけにピッチが落ちず、二次隊の浅野、池田との差は益々開くばかりだ。5250mを過ぎた岩頭では登頂して来た小幡、山田隊員が休憩していた。続いて下山して来た片桐、川崎隊員とすれ違ひ、お互い握手を交わす。シリシリと強い日差しを浴びながら疲労して来た身体にむち打ち尚も登行を続ける。岩稜から少し下り、急な雪面を登り切ると少し雲

がかかってきたが、そこが頂上だった。高度計を見ると5365mを指している。到達時間は一次隊から遅れること1時間45分ほどの3:10分だった。一気に1000mの登行で疲労はしているもの障害も起こしていないお互いの身体に感謝して、池田隊員と握手を交わす。水河側と玉珠峰側はスッパリと切れ落ち独立峰であることがわかる。新潟県山岳協会旗をだして記念撮影をして早々に下山にかかる。慎重に岩稜を下りBCの見えるはずの4700m地点にきてもBCが確認できないことに気がつく。その頃より雨が降り始めたし、下方の草原も霞んではいるが確かにBCは見えない。だが左手に水河は見えるし、降った尾根も間違えようもない。間もなく見覚えのある草原の地点まで来て、そこから水河からの踏跡をたどってテントの無いBC予定地に着いた。青海省登山協会のマイクロボスが止っていきすく乗れと言う。濡れた雨具のまま乗り込むが、隊員達が口々に説明するのだが脳に障害が出ているのかサッパリ呑みこめない。そのままシータータンの招待所まで眠り込

んだ。
西蔵鉄道の開通によりグルムド市で政府要人が大華、祝賀式典に参加するため怪しげな集団の退去命令という事だった。そのままグルムドのホテルに入り外国人は翌日の午前中まで外出禁止ということになった。登山活動は予定より早めに切り上げることになったが6名が登頂を果たした。その中でも川崎隊員の初登頂は県山協内でも女性として希少であると大いに盛り上がる。その後は日数の余裕があるにまかせ、グルムド市内の散策、日数をかけて荒野を走り回り、タクラマカン砂漠を望見し、オアシス胡楊林ではパオでの宿泊、驚きの大規模塩田など印象深い旅を続けた。

5日、合流した片桐氏の友人3名とユニオン航空の小林氏を加えて外国人一番乗りで、天空を征く西蔵鉄道で14時間かけて憧れのラサヘ入った。2日間のラサ滞在と成都でのゆっくり過ごした時間など生涯忘れられない旅となった。

未踏峰P5350mは登頂後、老山I峰と命名し青海省登山協会より承認された。

●参加隊員
総隊長

- 桜井 正一(新潟楽山会)
- 隊長「登攀」
- ☆片桐 一夫(長岡H:C)
- 副隊長
- ☆浅野 巨寛(朝路の会)
- 秘書長
- ☆川崎 貞子(山友会'99)
- 隊員
- 金井 忠夫(片桐氏友人)
- ☆小幡 松二(長岡H:C)
- 小林 幸子(新潟楽山会)
- 松枝美枝子(新潟楽山会)
- ☆山田 博(新潟在住)
- ☆池田 庄作(新潟楽山会)
- 村木 節子(新潟楽山会)
- ☆は登頂隊員



Your Global Lifestyle Partner



70th Anniversary

JTB関東 法人営業新潟支店

新潟市中央区古町通6-976

TEL:025-224-2201 FAX:025-229-5775

<http://www.jtb.co.jp/shop/houjinniigata/>

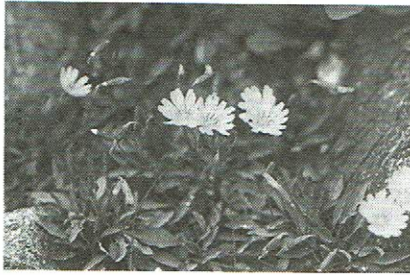
※“旅”の最新情報、ご覧になれます。

E-mail:h_mitani388@jtb.jp

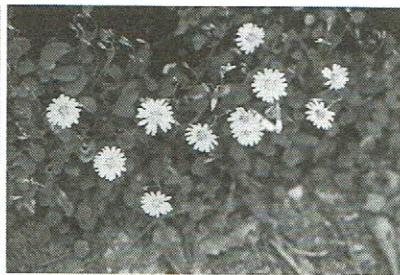
越後の山に見られる 変種植物

◆ ニガナ属
②9 ミヤマイワニガナ

むささび会 加藤 明文



ミヤマイワニガナ
白高地沢 7月28日



母種 ジシバリ
内の倉川 5月25日

本州中北部の大石のごろついた沢などに産し、本県では北アルプスの瀬戸川や白高地沢等で見られる。品種名 F, capillaris (毛のように細い) で母種は山麓に産するジシバリ(地縛)で高山品種となる。異点はどちらも長いツルが伸びるが、ツルに葉がつかない母種に対して非常に細いツルには点々と葉がつくことである。地縛とはたくさんのツルがまわりに巻きつき、地面を縛っているようだ、の意。

賛助会員入会

ご入金のお礼

新山協ニュース掲載の内容にて、賛助会員を募集しております。今年目標達成が、皆様のご支援のお蔭をもちましてもう少しというところでございます。県下あまねく、各位におかれましてはより一層のご理解と趣旨ご賛同の上、多数のご入会をお願い申し上げます。

次の皆様から、ご入会、ご入金を頂きましたので、ご報告させていただきます。

新潟県山岳協会
会長 遠藤家之進正和
理事長 森 庄一
総務委員長 七沢 恭四郎

(敬称略、順不同)

*6月25日～9月10日現在のご入会、ご入金状況です。
坂野雅之(荒川ワンダーフォーゲル) / 後藤邦子(悠峰山の会) / 小林由夫(日本山岳会 越後支部) / 上村虎夫(十日町山路の会) / 平田大六(関川村山の会) / 大倉柁(柏崎山岳会) / 坂井厚(映彩山岳会)

今秋晴れの授章 山と自然保護・岳人の育成に日々精進

自然公園功労者・環境大臣表彰に輝く

山崎寺和さん 越後吉田山岳会



喜びの
山崎さん

長年その地域を自然保護の思想に基づき、その普及への尽力。登山者への献身的な全指導に貢献された。それら

多くの功績が認められ自然公園功労者・環境大臣表彰を山崎さんが今秋の授章、発表となった。

腰痛・肩こり・冷え・筋力低下

細菌衛生・さい帯血保管 等

総合健康医療器機販売

メディカル ユングフラウ

電話 090-3173-0540

海外・国内旅行、主催・手配



ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行業第553号・IATA代理店 (社) 日本旅行業協会会員
本社 新潟県長岡市春日1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

□長岡営業所 〒940-0284 長岡市春日1丁目3番5号 一般旅行業取扱主任者 森 剛樹 ☎ (0258)33-7123
□新潟営業所 〒950-0916 新潟市米山3丁目2番11号 一般旅行業取扱主任者 中島 聖 ☎ (025)246-2266

お知らせ

飯豊連峰・門内避難小屋に冬季出入口用の梯子を追加設置
 これまでの門内小屋は、冬季用出入口が西側にあり、風雪の激しい冬～春季にかけては分厚いエビノシッポに覆われて使用不可能状態になるのが通常でした。その対策として、応急的に東側にも梯子を追加設置し、正面の二階窓からも出入りできるようにしました。

中条山の会 亀山東剛



▲冬季出入り用梯子設置の門内非難小屋

編集こうき

▲週末自然保護の研修会は、「新潟県の草花」に指定された、雪割草と上越の山本明氏の「山の鳥あれこれ」だった。火打山の雷鳥などの生態と、他の山岳の雷鳥の減少状況など。第一回の佐渡のトキの放鳥があった後だけに関心のもてる講話だった。イラストを

使った野鳥の生態やサエズリの話に啓発されて、ニワカ鳥類学者となつて図鑑と双眼鏡をもつて出かけて見た。遠くや近くの藪の中でのサエズリは聞こえるがなかなか姿は確認できない。しゃがみこんで観察していると、やはり秋、リスなどの小動物が枝やら木の間を忙しくかけ回っている。

▲テレビのタイヤのコーナーシャルだろるか、ガラスが置いたクルミをハンドルさばきも鮮やかにさけて走り去るシーンがある。私だったら、タイヤで踏んでクルミを割つてやるのに。

▲雨が降らないのでキノコが少ないし美味くないと友人がぼやく。こちらもオスソ分けが少ないという、トバッチリを受けている。しかたがないから今晚もサンマだ。今晚はサンマを二つに切つて、小麦粉をよくまぶして置く。良く熱したフライパンに少し大目の油をひいてハラワタにも良く火が通るようこんがりとな両面焼き上げる。皮がパリット香ばしく焼きあがつたサンマは、今日は定番の大根おろしでなく、細かくきざんだ長ネギをたっぷりふりかける。特にハラワタとネギと醤油の

行方不明者を捜しています

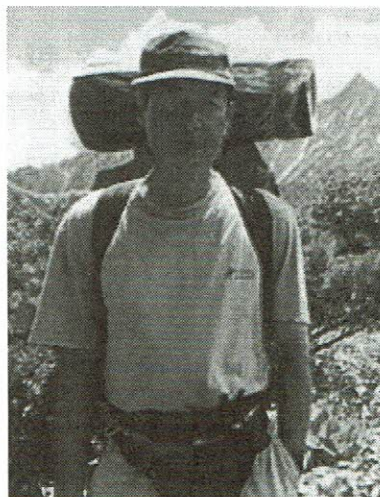
下記の行方不明者を捜しています。登山計画書によると、猿倉から入山し白馬尻經由で白馬岳、白馬大池を縦走し蓮華温泉で下山する予定になっています。

この方らしき人を見かけた・宿泊された等のほか、どんな些細な情報でも結構ですので、お心当たりの方は、情報の提供をお願いいたします。

- | | |
|------------|------------------------|
| 1. 行方不明者 | 佐藤 國雄 (さとう・くにお) |
| 2. 性別 | 男性 (62歳) |
| 3. 職業 | 長岡工業高等専門学校教授 |
| 4. 不明になった日 | 平成20年8月19日 (火) |
| 5. 特徴 | |
| 身長 | 172センチ・長四角顔 |
| 体格 | 中肉・中背頭髮白髪交じりの短髪 (一見黒髪) |
| 眼鏡 | なし |
| | ～当日の服装は、紺系のシャツの他は不明～ |

6. 情報

平成20年8月18日 (月) 村営猿倉荘に宿泊。翌19日 (火) 朝、猿倉から入山し、白馬尻を經由して白馬岳に向かった可能性がある。



＜行方不明者に関する情報の連絡先＞

- 長岡工業高等専門学校 (総務課) TEL 0258-34-9310
 または
 大町警察署 (地域課) TEL 0261-22-0110